

西条図書館・丹原図書館が開館 1 周年

より身近に・より便利になった
図書館をぜひご利用ください

昨年 6 月 1 日に西条図書館・丹原図書館が開館し、市内 4 図書館での連携運営が始まって 1 周年を迎えました。

市では、より多くの皆さんに図書館を利用いただくため、さまざまな図書館サービスの充実に努めています。今後も市内 4 図書館がさらなる連携を強め、情報発信拠点施設としての環境整備を進めてまいります。

重複しない休館日を設定

毎日、図書館をご利用いただけるよう、各館の休館日は重複しないように設定しています。特に西条図書館は、年末年始や月末整理日を除き、ほぼ毎日開館しており、開館時間も 9 時～22 時と、より利用しやすくなっています。

共通の利用カードを運用

昨年 6 月から市内 4 図書館共通の図書館利用カードの運用を開始したので、図書資料の貸出・返却が、どの館でもできるようにしています。また、各館の蔵書状況が、館内の端末機器やインターネットで確認でき、各館の図

書資料を、ご利用の館に取り寄せることができます。

各コーナーでの情報発信

●専門図書コーナー

西条図書館の 1 階には、まちづくり・ひとづくりをテーマに「水」「食育」「観光」「山岳」などの専門図書コーナーを設けています。

●ビジネス支援コーナー

西条図書館の 2 階にあるビジネス支援コーナーでは、起業・会社経営に役立つ図書資料を取り揃えているほか、市内の企業にご協力いただき、各企業の社史、パンフレットなども閲覧できます。

また、ハローワーク西条と連携して、新着求人情報を掲

示するなど、求職者への各種サービスを提供しています。

●郷土資料等の充実

各館では、今では手に入れることが難しい貴重な資料や郷土資料などを収集し、閲覧ができるようにしています。

●各種講座等の開催

皆さまの学習意欲にお応え

ますます充実「十河信二記念文庫」

孫の光平氏が信二氏の蔵書等を寄贈

西条図書館では、西条市の名誉市民である十河信二氏に関連した図書や貴重な資料を展示・公開する「十河信二記念文庫」を設けています。

十河信二氏は旧西条市の第 2 代市長を務められ、第 4 代国鉄総裁に就任後は戦後の日本の経済成長を牽引した新幹線建設に尽力し、「新幹線生みの親」と呼ばれています。

去る 5 月 12 日、信二氏の孫の十河光平氏と、十河信二氏の執筆に携わられた吉澤眞氏が来西され、信二氏が生前に収集した貴重な蔵書約 150 点を光平氏から西条図書館へ寄贈いただきました。



▲市役所を訪問された十河光平氏（左から 3 人目）と吉澤眞氏（同 2 人目）、J R 四国元常務の佐野正氏（右端）。写真提供：日本交通新聞社

この蔵書は、戦前戦後の激動期に、新たな日本の発展の礎を築かれた信二氏の人柄・足跡をうかがい知ることができる大変貴重なものです。西条図書館では、これらの貴重な蔵書等を有効に活用するため、十河信二記念文庫で広く公開していきます。

するため、各館では学識者や研究者を講師に招き、古典文学講座や歴史講座などを開催しています。

●おはなし会等の開催

子どもたちに読書の楽しさを知ってもらえるよう、絵本の読み聞かせや、職員による工作教室を開催しています。